



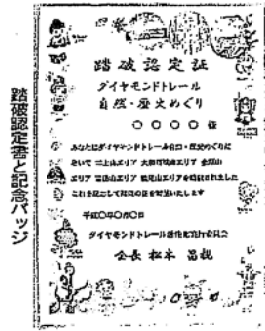
ダイトレ 踏破証延長

自然・史跡巡る45*

3府県観光連携

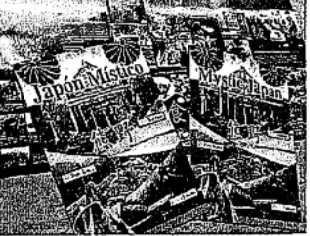
大阪、奈良、和歌山3府県観光の山々を結ぶ長距離自然歩道「ダイヤモンドトレール」(ダイトレ)と、その周辺にある名所旧跡を巡りながらコースを踏破する「自然・歴史めぐり」が、静かな人気を呼んでいる。3府県と地元10市町村でつくる「活性化実行委員会」が踏破認定証を申請し、昨年10月から半年の予定で呼びかけたところ、「踏破証」としての要望が多いため、今年未だの延長を決定。実行委員は時間をかけて巡ってもいい、新しい発見をしてほしい」としている。

実行委「宝探し気分」人気
ダイトレは、和歌山(奈良)に認定証と記念パスを贈る企画を実施。今年度は、和歌山(奈良)を踏破するコースを踏破する「自然・歴史めぐり」が、静かな人気を呼んでいる。3府県と地元10市町村でつくる「活性化実行委員会」が踏破認定証を申請し、昨年10月から半年の予定で呼びかけたところ、「踏破証」としての要望が多いため、今年未だの延長を決定。実行委員は時間をかけて巡ってもいい、新しい発見をしてほしい」としている。



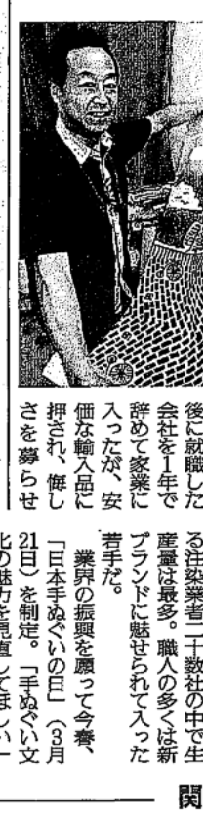
踏破認定証記念バッジ

関西空港からの外国人観光客を呼び込もうと、田辺市と大阪府泉南市、奈良県十津川村は合同で、観光パンフレット「関西国際空港から始まる『聖地・熊野への旅』(A4判三折リ)を作った。格安航空会社(LCC)の増便などで近年、関西の国際線を利用する外国人観光客が増えている。今後もラグビーワールドカップ(2019年)、東京オリンピック(2020年)などの世界的なイベントを控え、増加が見込まれている。3市村は関西を玄関口



に、泉州から熊野方面へ呼び込む広域観光ルートを創り出そうと、3月にはオーストラリアの旅行会社やメディア関係者を視察旅行に招待。4月には3市村の協議会を結成するなど、連携事業に取り組んでいる。観光パンフレットの作成もその一環で、田辺市は「日本の神話と伝統」、泉南市は「日本の生活文化」、十津川村は「日本の癒やし」をキーワードに、世界遺産・熊野古道や温泉、体験観光、食の魅力などを紹介。関西発着で3泊4日、4泊5日のモデルコースも掲載している。

手ぬぐい文化 魅力発信



染色技法「注染」で染めた日本手ぬぐいを作り続けて今年、創業50周年。2008年には、独特の肌触りや柔らかい手ぬぐいブランド「くはら」を設立し、京都や東京に直営6店舗を構え、伝統の魅力を発信している。注染は重ねた生地を染めて、注いで一度に何枚も染める技法で、明治時代に堺の業者が広めたと言われている。その職人だったのが1966年に創業した。作業中に左腕を失った。その後、大阪を拠点に注染業を継いだ。創業50周年を記念して、手ぬぐい文化の魅力を発信してほしい」とする。

「紀州材」活用 2企業を表彰

県内で生育、製材された木材「紀州材」を建築材などとして使用することで需要拡大に貢献した県外の団体、個人を表彰する。紀州材ベストユーザー賞に2企業が選ばれた。写真賞にも大賞に選ばれた。三浦建設(株)は、木を大切に育ててきた家づくりがコンセプトの「紀州材」を、東大阪市の認定こども園の園舎に活用したことが評価された。

恩地孝四郎 表現たどる

近代日本における版画界の巨匠で、抽象表現のパイオニアとして知られる恩地孝四郎(1904-1982)の回顧展が、和歌山県立近代美術館で開かれている。版画を中心に所蔵する作品も約400点を展示し、恩地のキャリアを振り返ることができるとしている。恩地は父親が橋本市出身で、竹久夢生の出会いをきっかけに版画家として活躍した。詩人・萩原朔太郎や音楽家の山田耕筰など関係の深い作品も多く、サインなど様々なジャンルでの作品を並べ、恩地が年を重ねるにつれて表現を洗練させていく過程が分かるようになっている。詩人・萩原朔太郎や音楽家の山田耕筰など関係の深い作品も多く、サインなど様々なジャンルでの作品を並べ、恩地が年を重ねるにつれて表現を洗練させていく過程が分かるようになっている。

パラ陸上 来月田辺で合宿

14~18日 選手・コーチ40人
スポーツ庁が3月、パラリンピック陸上競技のコーチ強化を目的に、市教委から多田野高等学校に、パラリンピック強化拠点施設を指定した。田辺市の上野公園(田辺市の上野公園)で、来月14~18日、リオデジャネイロパラリンピックに出場する日本代表候補選手と指導者約40人が、日本代表候補選手と指導者約40人が、田辺市の上野公園で合宿を行う。合宿期間中、地元の手ぬぐい文化や、市教委から多田野高等学校に、パラリンピック強化拠点施設を指定した。田辺市の上野公園(田辺市の上野公園)で、来月14~18日、リオデジャネイロパラリンピックに出場する日本代表候補選手と指導者約40人が、田辺市の上野公園で合宿を行う。

品名	単価
シロシヨウネン	475
ワシヨウネン	467
...	...

大正花壇めぐり
和歌山県立近代美術館で、大正時代の花壇を巡る。...

読者健康講座 関節リウマチとそれに似た病気について

7月3日(日)午後1時~3時
大阪市立大学・医学部学会4階大講義室(大阪市阿倍野区旭町1-4の3)
大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学病院教授の乾健太郎氏(写真)が、同病棟講師の高野隆志氏、大阪市立総合医療センター整形外科部長の多田昌弘氏が、近年大きく進歩した関節リウマチの診断と治療の最新情報と、背椎関節炎について解説します。終了後は個別相談(12組)、関節エコー体験(40人)を実施(多数の場合は抽選)。質問は申込時に受け付け、会場でも受け付けます。
無料。定員200人。申し込みは、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数、質問内容、個別相談・エコー体験の有無を明記して、はがきかFAX、メールで、〒530-0055大阪市北区野崎町5-9、大阪みうり文化センター(7/3あべの健康講座)係(FAX06-6361-3327)へ。受講はがきを送ります。
共催=アット・イー・ジー・大阪みうり文化センター 後援=読売新聞大阪本社
honbu@oybc.cc.jp